

ふじやまだより

第17号

発行 2004年

5月15日

本郷
ふじやま公園
運営委員会



全参加者が楽しめた筍掘りイベント

里山部会 宗森 英夫

4月10日(土)に本郷ふじやま公園の第5回目
の筍掘りイベントがおこなわれました。

今年度は72家族179名の応募がありま
したが、その中から抽選で23家族57名
の方に参加していただきました。参加者を5班
に分け、班毎に2名のリーダーをつけ、安全
確保に努めました。班毎に筍掘りの区画を定
め、その区画内で筍掘りを行いました。実際
に筍を掘った時間は1時間位でしたが、参加
者全員が筍掘りを体験して楽しみました。

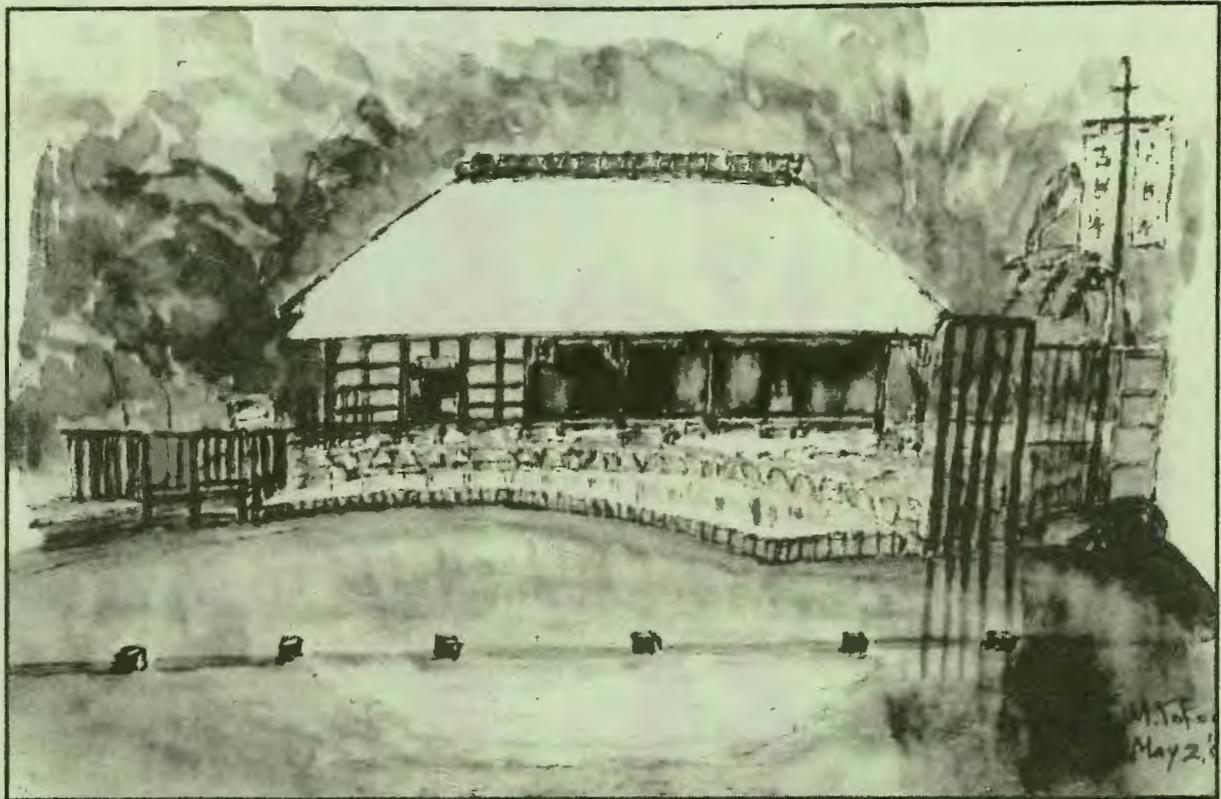
作業後は、事前に用意されていた筍汁を味

わいながら、お弁当を食べました。その間に
収穫された筍がスタッフの手で等分割され、
食後に抽選会が行われ、全家族が4本ずつの
お土産を持ち帰ることができました。



都筑区「せせらぎ公園」古民家

古民家スケッチめぐり (その1)



広報部会 横尾 正孝

横浜市営地下鉄「仲町台」の駅より、洒落た店の立ち並ぶ一角を横切って、五分ばかり歩くと、「せせらぎ公園」の入り口に出ます。

古民家は、この公園の池の辺にあります。

折からの、陽光を一杯に浴びて、燃え立つような新緑の中、池面に、姿を映した古民家は、いかにも愛らしい。

池に沿った道づたいに入り口に入ると、鯉のぼりの歓迎です。古民家の前に、置かれたベンチには、公園散策の途中でしょうか、弁当を広げる人、写真を撮る人、また、一角には、スケッチを楽しむ一団が陣取っています。正に公園の目玉に相応しい賑わいです。

この古民家は昭和55年に移築され、主屋は旧内野家住宅です。建設年代は手法より見て、江戸時代中期～後期と推定されています。復元された間取りは「広間型三間取り」といって、当時の農家の特徴が伺えるものです。

長屋門は旧小杉家長屋門で、東京都目黒区にあったものを、縁あって、主屋と同時に移築したものです。

「桜の時はよかったんですよ」とは管理事務所の係りの人の言ですが、私には、この新緑の美しさで、充分です。池もいい。古民家の雰囲気を感じ上げています。

早速、主屋に入って、囲炉裏端にどっかり。囲炉裏守の人と小1時間も話したでしょうか。

ここの囲炉裏は毎日焚くそうで、道理で、天井は見事に黒光りしています。燃やす薪は桜の木だけです。そのため灰が白く、目を引きまします。桜の木を集めるのに、ご苦労があるようですが、色々な方々が、ご好意で、桜の木を持って来て下さるそうです。

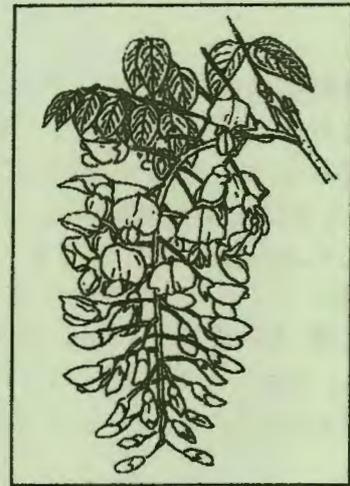
「囲炉裏を焚いていて、一番気にかけていることは？」…子供の訪問者が多く、囲炉裏を珍しがって、近づくので、事故のないように、気を配っています。それでも、日柄、囲炉裏の火を見ていると、無念夢想の境地になり、それが堪らなく快感です。…確かに、囲炉裏端から見る、明るい池面の向こうに広がる新緑は、格別の美しさです。何時までも、座っていたい気持ちを抑えて、次の古民家「都築民家園」に向かうべく立ちあがりました。

ふじやま公園のヤマフジ(花暦その1)

里山部会 宗森 英夫

今年は桜の開花が早かったように、全ての植物の開花が早かったようです。例年ですとGW頃が見頃のフジも、今年は4月初旬から咲き始めました。各地の藤棚に見事なフジの花が垂れ下がりましたが、ふじやま公園では、ヤマフジが園内のあちこちで見られました。甘い香りに誘われてミツバチやクマバチが群がっていました。

つる性植物は他のなにかに頼らなければ身を支えられないことから、しとやかな女性にたとえられ、永遠の愛の象徴として詩や文学によく登場します。



(ヤマフジ)

古民家の生活(1)

「薬の製造」

広報部会 相原 雅夫

小岩井家では昔、小児用疳の虫の丸薬を製造・販売していて古民家の二階は薬草の乾燥室に使っていたそうです。この丸薬は大人の薬でいえば丁度小田原の「ういろう」にあたるようです。当時、神奈川県で幕府から薬の製造販売を許可されていたのは小岩井家と小田原の外郎家だけでした。

「ういろう」は明に滅ぼされた元の陳外郎(ちんういろう)が伝えたといえますから、14世紀の頃です。効能書を見ると、胸腹痛

から始まって51以上の症状に効くとあります。お菓子の「ういろう」も外郎家の二代目が作ったというのが始まりというのは面白いですね。

また、小岩井家でその時栽培されていたと推測されるセリバオウレンという薬草が、数年前富士塚の下で生えていたそうです。今は長屋門の前の薬草園でクコ、にわうめやくちなしなどが栽培されています。

小岩井家では大分前に廃業されたそうです。

古民家の見てきた年中行事概要・其三

古民家歴史部会 木島 健司

本郷ふじやま公園の古民家が見てきた行事について

味噌・醤油づくり

毎年家で仕込んでいた。醤油は本職の人が道具を持ってきて絞った。灰屋に蓄えて年数の古いものから使った。

屋敷稲荷

風呂場の北東方向の山に少し入った所にあつて、初午の時は使用人が供え物を藁に包んで供えた。登り道が崩れていて子供は近づけなかった。

お盆(8月13日~16日)

各家が庭先で迎え火・送り火をしたが、小岩井家も同様であった。この家では盆棚を仏壇の前に置き、二本の竹を畳から天井まで立てて飾った。

節分

豆撒き程度しか行わなかった。終木(ヒイラギ)に鯛(イワシ)の頭を刺し、軒に付ける所もあるが、同家ではそのような習慣はなかった。



椎茸が可愛らしい頭を出しました！”

～日はのぼり尽きて暗し春子採り 久美子～

農芸部会 星野 英子

爽やかな若葉の香りが漂い、樹々の間を通り抜けた柔らかな風に包まれて、樹間越しに古民家を望みながら農芸作業に参加しています。作業の合い間の一時の森林浴、仲間との語らいは、これから続く畑や花壇の季節の扉を次々に開けてくれます。芽が出、花が咲き、実がつく喜びを感じながら、元気もいただき一石二鳥、贅沢・幸せを感じています。

昨年植えた椎茸が、小さな可愛らしい頭を

出してきました。無事に育ってねと祈ります。花にも野菜にも誉めたり、謝ったり、愛情込めて話しかけては、つくづく造化の神に感謝しています。

この一年、あっという間でしたが、自然から・人からいろいろなことを教えていただきました。今月からは新しい仲間も加わって、ボランティアとして皆様と楽しく過ごしていきたいと思っています。

催し物 ご案内

教室名	日時	内容	定員	材料費
植物画 (全6回)	6月28日、7月26日 9月27日、10月25日 11月29日、12月27日 各月曜日 13時～16時	水彩絵具による植物 細密画	12名	材料は各自 持参下さい
布細工 (全2回)	6月30日、7月14日 各水曜日 13時～16時	うさぎのブローチと 和布で作るピエロ	12名	¥1,300 (2回分)

- (1) 定員 : 応募者多数時抽選
 (2) 応募要領 : 往復ハガキに、教室名、氏名(ふりがな)、〒、住所、電話番号を書いて
 本郷ふじやま公園へ 期限5月31日(月)必着

お知らせ

- ・休館日 : 6月2日(水)
 ・クリーンアップ作業日 : 6月1日(火)、6月15日(火) 10時～11時



古民家ゾーン ご利用案内

- ◎開館時間 : 9:00～17:00
 ◎休館日 : 毎月第1水曜日(祝日の場合はその翌日)
 ◎入館料 : 無料

- ◆ 本郷ふじやま公園運営委員会
〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20
Tel:896-0590 Fax:896-0593
- ◆ 緑政局中部公園緑地事務所
Tel:711-7802 Fax:712-6260